



新年明けましておめでとうございます！

旧年中は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2025年がシティネット会員の皆様にとって幸多き一年となりますようお祈り申し上げます。旧年中、CYOはシティネットの会員の皆様と共に様々な活動を行ってまいりました。主な活動を以下に振り返ります。

2024年1月には、ダナン市庁舎で第12回ダナン都市開発フォーラムが開催され、参加者が持続可能な開発を促進するためのビジョンや行動計画について意見を交換しました。夏には韓国と台湾からの視察団を受け入れ、参加者がSDGsの取組推進について議論しました。また、10月にはアジアスマートシティ会議の一環として、シティネット SDGs分科会セミナーを開催しました。セミナーには120名を超える参加者が集い、SDGsと気候変動対策の相乗効果について議論が行われました。このセミナーのサブイベントとして、つながりを深めるためのネットワーキングイベントも開催されました。また、11月にはSDGs次世代育成活動の一環として、シティネット会員都市の学生の環境絵日記展への参加を支援しました。このように、シティネットでは様々なプログラムを実施し、一定の成果を上げてきました。

本年も昨年同様、興味深く有益なイベントを開催する予定です。このような活動を通じて、シティネット会員間のネットワークをより強固なものにし、持続可能で強靭な都市づくりに取り組んでまいります。今後ともよろしくお願ひいたします。

I. SDGs次世代育成活動

CYOは2023年度に引き続き、2024年度もSDGs次世代育成活動を推進しました。昨年までの活動との大きな違いは、交流活動にVR技術の活用を始めたことです。VR空間は、生徒たちがVR上のアバターを操作してプレゼン資料の共有や、お互いのコミュニケーションに活用できます。

2024年11月8日、日本のみなとみらい本町小学校とモンゴルのウランバートル市立第23小学校の間で、第1回オンライン交流会が開催されました。両校の4年生の生徒たちは、日頃取り組んでいるSDGsに関する活動を発表し合い、積極的に質問を交わしました。例えば「日本の生徒はどのように自分たちで掃除していますか」、「市内にはごみ箱の数は十分ありますか」、「アップサイクルについて、クラスではどのような意見が出されましたか」といった具体的な質問があがりました。両校の生徒たちは、日常生活の中でSDGsを意識していることもあり、お互いの国の環境問題やそれに対する意見に関心を示していました。また、2025年1月23日には、みなとみらい本町小学校とインドネシアのスマラン市立ペドゥルンガン・テエンガー第2小学校との間で第2回オンライン交流会が行われました。この交流会では、生徒たちが日頃取り組んでいるSDGs活動の発表に加え、自分たちが将来住みたい街についての意見交換も行われました。これらの意見交換を通じて、両校の生徒たちはお互いへの理解をより深めた様子でした。

CYOは、次世代育成を目的とした交流活動を今後も継続して支援してまいります。



ウランバートル第23小学校による発表



みなとみらい本町小学校



Pedurungan Tengah D2 Elementary School



Akinori Kamiya

ペドゥルンガン・テエンガー第2小学校とのグループフォト

II. 自発的ローカルレビュー（VLR）研修へのスピーカーとしての参画

横浜市は、**地球環境戦略研究機関（IGES）**が**アジア太平洋都市自治体連合（UCLG ASPAC）**と連携して2024年11月13日および14日の2日間にわたって開催した「アジア太平洋地域の地方自治体向け自発的ローカルレビュー（VLR）およびSDGsローカル化に関するオンラインウェビナー」に参加しました。本ウェビ

ナーは、VLRの準備・実施に関する実践的な指針を提供するとともに、双方向型のセッションを通じて、東南アジアの地方自治体がSDGsをローカル化し、報告能力を強化することを目的としています。また、地方自治体間の協力や知識共有を促進する場としても位置付けられていました。プログラム2日目には、**横浜市国際局の横内宣明課長**が登壇し、SDGs実践の先進都市としての横浜市のVLRに関する知見やベストプラクティスを紹介しました。プレゼンテーション後には、参加者からVLRのプロセスや日本におけるSDGsモニタリング制度に関する質問が多く寄せられ、横浜市はこれまでの経験に基づき回答しました。

さらに、2024年11月28日にはフィリピン・ラウニオン州サンフェルナンド市が、同市のVLRに関するオリエンテーション・イベントを開催しました。この取組は、先に開催された第13回アジアスマートシティ会議での知見共有を受け、SDGsに沿った戦略を策定し、持続可能な地域社会を実現する目的で開催されました。本オリエンテーションには、**横浜国際局の富岡典夫部長**をはじめ、**横浜市やCYO代表**がオンラインで参加しました。イベントには、**サンフェルナンド市のHermenegildo. A. Gualberto市長**、同市の各部門の管理職や課長、SDGs関連活動を担当する市職員、同市の外部パートナー、**バギオ市都市計画・開発コーディネーターのDonna Tabangin氏**など、幅広い関係者が一堂に会しました。

Gualberto市長は開会挨拶で、SDGsの重要性に触れるとともに、第13回アジアスマートシティ会議で得た洞察を活かし、VLRに取り組む決意を表明しました。続いて、横浜国際局の富岡部長が挨拶し、脱炭素化や都市開発を含むSDGs目標達成に向けた取組においてサンフェルナンド市を支援する姿勢を示しました。その後、横浜市はVLRのプロセス概要を説明し、他のシティネット会員都市へのVLR支援事例や、サンフェルナンド市に対する今後のVLR支援について共有しました。セッション中、Gualberto市長をはじめとするサンフェルナンド市の参加者はVLRプロセスに強い関心を示し、積極的な質問や議論が行われました。本オリエンテーションが、サンフェルナンド市のSDGs達成に向けた第一歩となり、今後の両都市協力関係の礎となることが期待されます。



VLRに関するウェビナーでの横浜市のプレゼンテーション



サンフェルナンド市のVLRに関するオリエンテーション・イベント

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 横浜国際協力センター6階

TEL: 045-221-1214

E-mail: citynetyokohama@gmail.com



CITYNET Yokohama Project Office
supports the SDGs.